

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成30年3月15日 (2018.3.15)

【公開番号】特開2017-61179(P2017-61179A)

【公開日】平成29年3月30日 (2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2015-186460(P2015-186460)

【国際特許分類】

B 6 0 R 16/03 (2006.01)

B 6 0 R 16/02 (2006.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 16/03 A

B 6 0 R 16/02 6 4 5 D

H 0 2 J 7/00 3 0 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月31日 (2018.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

他方、第 1 接点 3 6 1 c , 3 6 2 c , 3 6 3 c は、副電池 2 と接続されず、副電池 2 はリレー 3 6 1 , 3 6 2 , 3 6 3 , ... 及びスイッチ 3 1 によって主電池 1 と遮断される。これにより、外部（ここではバックアップ負荷 6 1 , 6 2 , 6 3 , ... ）への給電を確保しつつ、電池間環流が回避される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

なお、本実施の形態ではスイッチ 3 1 とリレー 3 6 1 , 3 6 2 , 3 6 3 , ... とは並列接続された関係にあるので、スイッチ 3 1 が導通している場合に、リレー 3 6 1 , 3 6 2 , 3 6 3 , ... がオープン/クローズのいずれの状態にあるかは不問である。よって、スイッチ 3 1 が導通している場合において、ここでは考慮されない事情により、上記制御装置がリレー 3 6 1 , 3 6 2 , 3 6 3 , ... をクローズ状態にしておいてもよい。この場合、スイッチ 3 1 が非導通となると同時に、あるいはそこから所定時間経過後に、リレー 3 6 1 , 3 6 2 , 3 6 3 , ... をオープン状態にする。この所定時間は主電池 1 と副電池 2 との電位差が小さいなど、電池間環流が実際上で問題とならない時間に設定できる。